

ももの収穫始め予測（令和4年）

長野県果樹試験場(6月17日)

ももは、硬核期までの幼果期の気温に敏感に反応し、それが成熟日数（開花期から収穫期までの日数）に影響します。

果樹試験場（須坂市小河原）では、過去の生態と平均気温の関係を調査し、主要4品種について、満開日の翌日から50日間の平均気温が高いほど、成熟日数が短くなる関係を認め、これを基に作成した収穫予測式（平成29年 第2回技術情報）により、収穫始めを予測しています。

本年の満開日は平年より数日早く、収穫始め予測日も同様に数日早まる予想です。また昨年と比較すると、満開日は遅れ、収穫始め予測日も数日遅れる予想です（表1）。

ももは、収穫直前の気温が高いと成熟が遅れる傾向にあるため、収穫前の気温の状況を注視して収穫期を判断してください。特に「川中島白桃」において、夏期が高温の年は、収穫始めが予測日より遅くなる傾向が強いため、早採りに注意してください。

表1 令和4年度 長野県果樹試験場におけるもも4品種の収穫始め予測

品種	満開日	満開後1～50日の平均気温	満開から収穫始めまでの日数	収穫始め(予測日)	平年比	昨年比(実績)
白鳳	4月21日	16.3℃	102日	8月1日	-2	+3
あかつき	4月19日	16.1℃	102日	7月30日	-3	+2
なつっこ	4月20日	16.2℃	111日	8月9日	-2	+2
川中島白桃	4月24日	16.5℃	122日	8月24日	±0	-1

気温は地域気象観測システム（アメダス、長野県長野）より「白鳳」「あかつき」「川中島白桃」の平年値は1991～2010年の平均値、「なつっこ」の平年値は2001～2010年の平均値